

国立市消防団の出動手当と報酬の改正の考え方について

1. 改正の目的

国立市消防団の処遇改善を行うため、出動手当と報酬を改正する。

2. 改正にあたっての考え方

(1) 出動手当

現在、国立市消防団の出動手当については、出動手当1回につき2,900円を支給すると規定しています。

令和3年4月13日付消防地第171号の消防庁長官通知により、災害時の出動手当について1日あたり8,000円とする標準額が示されたことで、全国的に消防団員の出動手当を見直す動きが見られており、多摩地域の他市については、長時間（おおむね市職員の1日の勤務時間である7時間45分以上）の出動を要する大規模災害（大地震、洪水等の浸水被害等）には1回8,000円の出動手当を支給すると規定している市が多い現状です。

1日8,000円の出動手当を規定していない市でも、町田市、稲城市は1日7,000円の規定があります。

1日8,000円の規定がないのは、八王子市、国立市、府中市、国分寺市の4市のみとなっている状況です。

このため国立市についても大規模災害（1日の出動時間が7時間45分以上になる災害）時に1日につき8,000円の出動手当を支給する規定を新設したいと考えています。

(2) 消防団員報酬

国立市消防団の報酬については、年額支給を前提としています。

年額算定のため、途中入団者、途中退団者などの月額で換算する報酬算定に端数が生じることとなります。

端数処理については1円未満を切り上げにするなど団員に不利益のないよう対応するところですが、事務上の手続きも煩雑となっているのが現状です。

月額を基準にした年額報酬に改正し、途中入団、途中退団でも対応できる報酬額としたいと考えています。

また現行の年額を月額に除した場合の端数を切り上げて、年額報酬の金額を上げることで、少しでも団員の処遇改善につなげたいと考えております。

(4) 出動手当の改正文案

国立市消防団に関する条例（昭和59年12月国立市条例第32号）による職務のため出動したときは、1回につき2,900円の出動手当を支給する。ただし、大規模災害（1日の出動時間が7時間45分以上になる災害をいう）にあつては、

当該大規模災害の職務 1 日につき 8, 0 0 0 円の出動手当を支給する。

(5) 団員報酬の改正案

特別職名	諮 問 額	現 行 額	引上げ額	支払方法
団 長	346, 800 円	346, 600 円	200 円	年額報酬
副団長	255, 000 円	254, 600 円	400 円	年額報酬
分団長	176, 400 円	176, 000 円	400 円	年額報酬
副分団長	127, 200 円	126, 600 円	600 円	年額報酬
班 長	90, 600 円	90, 100 円	500 円	年額報酬
団 員	82, 200 円	81, 950 円	250 円	年額報酬